

北海道 P C B 処理事業所 内部技術評価結果について

中間貯蔵・環境安全事業株式会社では、P C B 廃棄物処理事業の円滑な実施のため、P C B 廃棄物の安全、確実な処理及び事故等の未然防止の観点から、処理施設の健全性及び運転・操業の確実性の確保と、これらの維持向上を図るため、「内部技術評価実施要領」を定め、全 P C B 処理事業所（以下、P C B 処理事業所を「事業所」という。）を対象に、各事業所年 1 回の内部技術評価を実施することとしている。

北海道 P C B 処理事業所については、本年 2 月に第 1 3 回内部技術評価を実施したが、指摘事項はなく、処理施設の操業状況としては、計画的処理完了期限内での処理完了に向けて、長期保全計画を踏まえた処理施設の維持・管理が実施若しくは計画され、設備改善、操業改善、運転廃棄物及び処理手間物の処理促進、省エネ・省資源等への取り組みも行われており、着実に操業が行われていることを確認した。

また、処理施設の解体・撤去についても、事業所内で定期的に打合せが実施され、検討が進められていることを確認した。

以下に、令和 2 年度の内部技術評価の結果を報告する。

1. 内部技術評価の仕組み

内部技術評価の実施フローは、別紙 1 「内部技術評価実施フロー」に示すとおりであり、P D C A サイクルを回すことにより、更なる改善に向けて、随時継続的な見直しを行いながら実施している。

2. 内部技術評価の計画

(1) 評価対象事業所

北海道 P C B 処理事業所

(2) 評価対象期間

令和元年 9 月 1 日 ～ 令和 2 年 8 月 3 1 日

(3) 評価項目の設定

1) 内部技術評価の実施に当たっては、既に実施した各事業所の内部技術評価結果、行動計画、予算、各事業所における操業上の共通課題や内部技術評価に対する経営幹部会議、事業部会、作業安全衛生部会等からの指導事項等を考慮して、予め評価項目と評価内容を記載した「内部技術評価チェックリスト」（以下「チェックリスト」という。）を作成し、同チェックリストを基に評価を行っている。

2) 令和 2 年度の内部技術評価は、全事業所共通で、

①. 計画的処理完了期限内での処理完了に向けて、長期処理計画（処理手間物を含む未処理品の処理を含む。）に基づく年度処理計画通りに処理が進んでいるか。また、長期保全計画に基づく年度保全計画通りに保全が実施されているか

②. 運転廃棄物の自事業所トランス・コンデンサ処理設備での処理計画（ここで、「処理」とは、「卒業若しくは低濃度化」を言う。）と処理実績はどのよう

になっているか

③. 処理施設の解体・撤去に向けた取り組みはどのようになっているかに重点を置いて評価を行った。

3) 今回の内部技術評価における評価項目を別紙2「第13回北海道PCB処理事業所内部技術評価 評価項目一覧表」に示す。

3. 内部技術評価の実施

(1) 評価実施日

令和3年2月18日(木)～令和3年2月19日(金)

(2) 評価方法と評価区分

1) 評価方法

前述のチェックリストに基づき、北海道PCB処理事業所関係者にヒアリングを行い、関連図書・資料類によりその内容を確認する方法で処理施設の操業状況の確認を行った。

2) 評価区分

「内部技術評価実施要領」の規定に基づく評価区分を下表に示す。

評価区分	評価内容
適合事項	各評価項目について、処理性能等に適合している場合に付する。
指摘事項	各評価項目について、PCB廃棄物の安全、確実な処理及び事故等の未然防止の観点から技術評価対象事業所に対して改善を指示する場合に付する。
所見	各適合項目について、処理性能等の改善のための意見並びに特記すべき事項等がある場合に付することができる。

(3) 評価結果

1) 今回の内部技術評価では、評価項目数80項目(*1)について評価を行い、評価結果は以下の通りであった。

①. 指摘事項：なし

②. 適合事項：80項目（内、2項目に所見を付した。）

なお、前回の内部技術評価における指摘事項はなく、また、良好事例とした所見1件についても、保管事業者とも連携して、処理困難な廃PCB油の処理が計画的に進められていることを確認した。

2) 評価結果を「別表」に示す。

以上

「別表」

指摘事項、所見の評価内容、改善・対応結果

指摘事項	なし
所見	<p><所見1> <u>評価項目NO. 1-2 処理状況</u></p> <p>◎ 安定器分離処理設備の設置工事が完了し、総合調整試験まで終了しているとのことであるが、引き続き実施が計画されている引渡性能試験及び習熟運転についても、営業運転の安全・安定且つ計画的な処理体制の構築に向けて、JESCO・運転会社・施工会社が三位一体となった安全・確実な体制下での実施をお願いしたい。</p> <p>(対応状況)</p> <p>◎ 工事と同様に増設施設を操業しながらの実施となるため、操業で実施している朝・夕次、週次、月次での三者（JESCO・運転会社・施工会社）ミーティングや三者立会いの下での運転等、三者間の連絡を密にすることにより、安全・確実に無事故・無災害で引渡性能試験及び習熟運転を実施することが出来た。</p> <p><所見2> <u>評価項目NO. 1-2 処理状況</u></p> <p>◎ 「冬場に固化する」、「エマルションやヘドロ状物質を含む」等、通常の処理工程・処理条件では処理が困難な廃 PCB 油の処理について、ソフト・ハードの両面から検討がなされ、また、保管事業者とも連携して、計画的に処理が進められていることを良好事例として評価する。</p> <p>今後も掘り起し、総ざらい等により、廃 PCB 油以外にも処理困難物が発生する可能性もあることから、計画的処理完了期限内での処理完了に向けて、引き続き適切な対応をお願いしたい。(良好事例)</p>
前回所見に対する対応状況の確認結果	<p><前回所見1> <u>評価項目NO. 1-2 処理状況</u></p> <p>◎ 夾雑物や水分を含む等、通常の処理手順・方法では処理が難しいPCB汚染油の試験設備による処理条件の検討、安定器の仕分け・分離処理、小型電気機器の当初施設での処理等、PCB廃棄物の早期処理完了に向けて様々な検討が行われ、対策も講じられているが、引き続き1日も早い処理完了に向けての検討をお願いしたい。(良好事例)</p> <p>(対応状況)</p> <p>◎ - (良好事例のため、対応状況の報告は不要としている。)</p>